

取り付けと接続

(おもてから続きます)

2

車を安全で平坦な場所に停める。
パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー（エンジンキー）を抜く。

3

バッテリーのマイナス端子を外す。

Memo

●

コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。

●

一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。

4

灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。

5

車から取り付けブラケットごとカーナビゲーション / モニター製品を外す。

6

カーナビゲーション / モニター製品に付いているケーブルを外す。

Memo

●

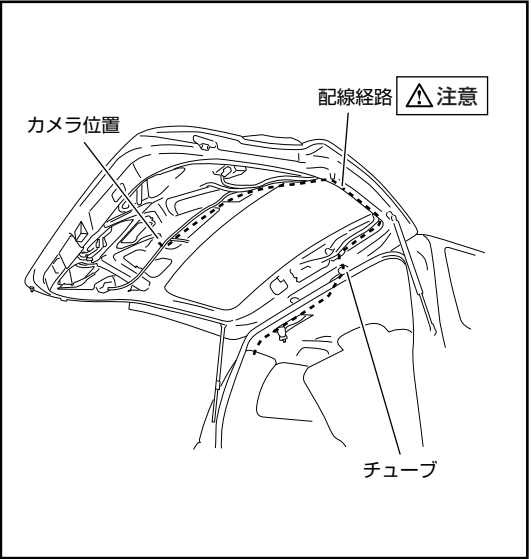
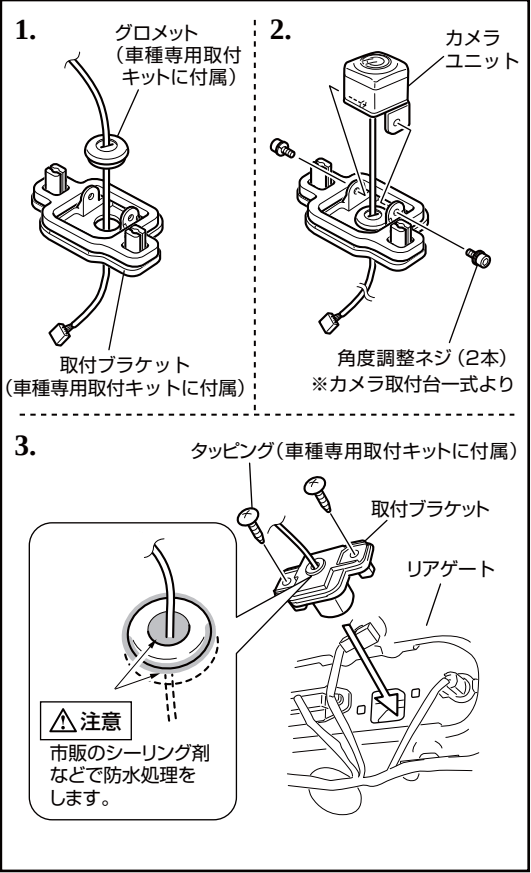
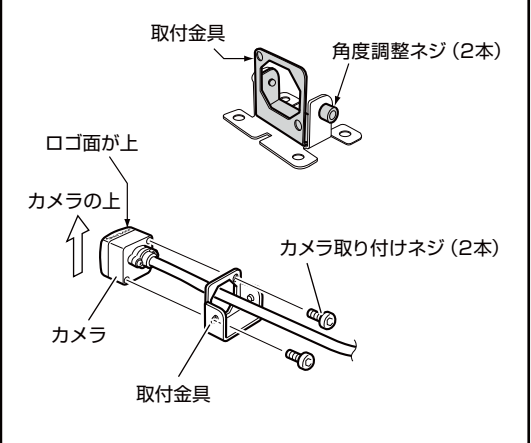
取り外しの際には変形等が考えられますので、作業には十分ご注意ください。

2. カメラを取り付ける

〈車種専用ダイレクト接続ケーブル/取付キット（別売）を使用する場合〉

車種：トヨタ アルファード/ヴェルファイア（H20/5～現在）
車種専用ダイレクトケーブル：KWX-001AV
車種専用取付キット：KTX-C12AV

カメラブラケット一式

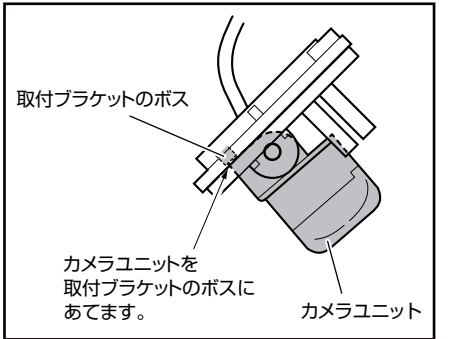


■カメラユニットの組立て

- カメラブラケット一式から取付金具と角度調整ネジを取り外します。
- 取付金具とカメラをカメラ取り付けネジで固定します。

■カメラユニットの取付け

- グロメットにコードを通し、グロメットを取付ブラケットに取り付けます。
- 下図を参照し、取付ブラケットとカメラユニットの位置を合わせてから、角度調整ねじで固定します。



- リアゲートに取付ブラケットを取り付け、タッピングで固定します。

注意

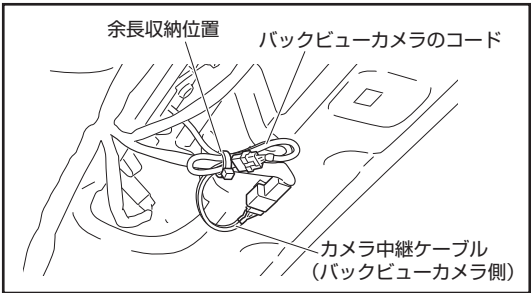
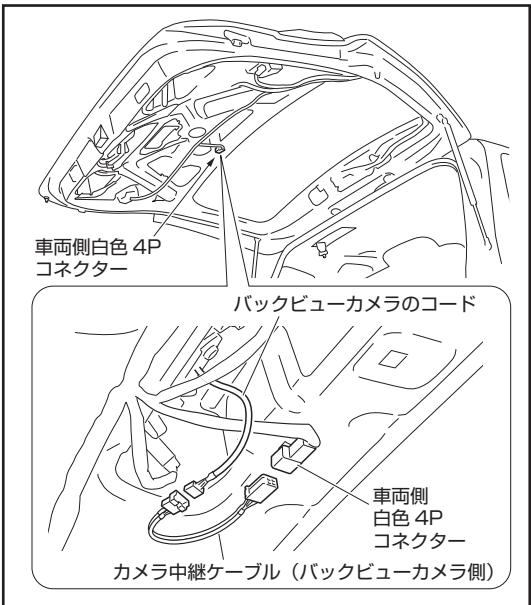
カメラ配線を通した部分は、市販のシーリング剤などで防水処理を行ってください。

■配線方法

- 左図を参照してカメラユニットの配線を通します。
- 配線を挟まないように注意しながらバックドアトリムを元に戻します。

注意

●カメラ配線を通した部分は、市販のシーリング剤などで防水処理を行ってください。
●各配線の挟み込みに注意してください。



■バックビューカメラダイレクト接続ケーブルの接続

【カメラ中継ケーブル（バックビューカメラ側）の接続】

- リアゲートにある車両側白色4Pコネクタ（オプション4Pコネクタ）にカメラ中継ケーブル（バックビューカメラ側）を接続します。
- バックビューカメラのコードとカメラ中継ケーブル（バックビューカメラ側）を接続します。

- 余長を束ねて図の位置に固定します。

注意

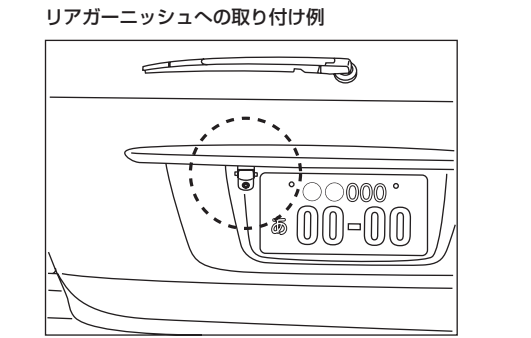
バックドアトリムのクリップ位置をさげ、復元の際に配線がかみ込まない位置に固定してください。

Memo

市販のタイラップなどを使用して車両ハーネスに固定してください。

〈ダイレクト接続ケーブル（KWX-G001）を使用する場合〉

- 取り付け例を参照して、カメラ・取り付け台が車体へ干渉しないことを確認してから取り付け位置を決めてください。

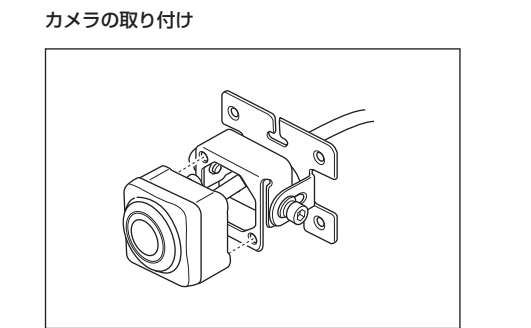


- カメラ取り付け位置の確認をする
カメラを取り付け金具・取り付け台に取り付け、車両の取り付けたい位置に合わせてカメラの角度調整を行い、カメラが車両や車両部品にあたらないことを確認してください。
取り付け位置に凸凹がなく平らな面であること、カメラ取り付け台の接着面が全て接着できること、付属の六角レンチで角度調整ネジ（両側）の締め付けができることを確認してください。

注意

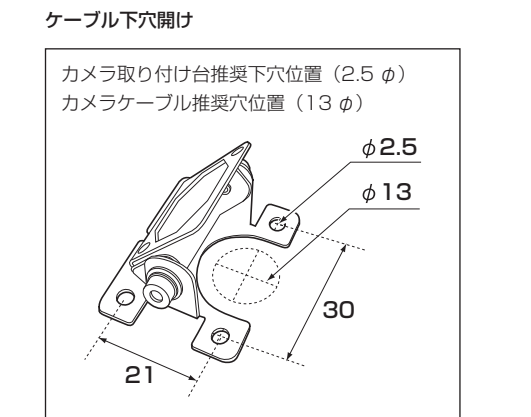
- カメラはナンバープレートにかからないように取り付けてください。
- カメラはなるべくガーニッシュの中心にるように取り付けてください。
左右に大きくずれて取り付けるとイメージと見え方が異なる場合があります。
- バックドアやトランクの開閉時にカメラや、ケーブルがあたらないことを確認してください。

2 カメラとカメラブラケットを組み立てる。



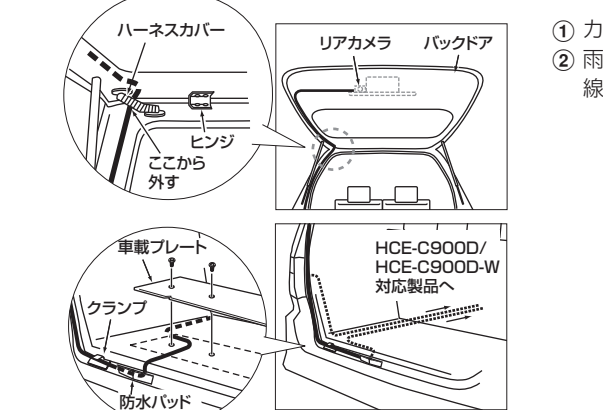
- カメラの上下を確認し、カメラケーブルをブラケットの取り付け金具にとす。
 - ロゴの印刷面がカメラの上面になります。
- 付属のカメラ取り付け用タッピングネジを使いカメラを取り付け金具に固定する。

3 カメラブラケットを車体に取り付ける。



- カメラブラケットを取り付けるおおよその位置を決める。
- カメラの角度を調整する。
はじめに、カメラを車両進行方向に対して真後ろを向くように調整する。
その後、カメラを地面に対して約30度下を向くように調整する。
- カメラ取り付け部に、ケーブル配線用の下穴（φ1.3）をドリルで開ける。
また、必要に応じて、カメラ取り付け固定用ネジの下穴（φ2.5）も開ける。
 - 金属に穴あけ加工を行った場合、加工穴の断面及び周辺にタッチアップペイントをしっかりと塗り、十分に乾燥させてください。
- 取り付け面の汚れやほこりをクリーニングクロス（別売）で拭き取る。
- カメラケーブルを開けた穴に通し、ケーブルを車体中に送る。
- カメラケーブルを通した穴は、防水テープ（市販品）やシーリング剤（市販品）で、しっかり防水を行ってください。
- カメラブラケットの接着テープ保護紙をはがし、カメラブラケットを車体に取り付ける。
必要に応じて、カメラブラケットを取り付け台固定用タッピングネジで固定する。

4 カメラケーブルを配線する。



- カメラケーブルを配線する。
- 雨が入らないように防水パッドやクランプで配線する。

Memo

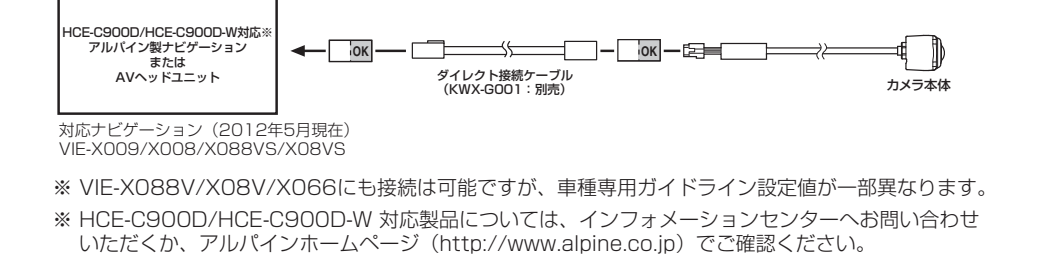
●ケーブルの配線の際は、突起部や金属の縁などにあたらないように取り回してください。

5 接続する。

注意

正しい接続をする。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
接続については、HCE-C900D/HCE-C900D-W 対応製品の取扱説明書を参照し、必ずバックビューカメラ入力に接続してください。

● 基本接続図



3. 確認する

1 コード類を固定する。

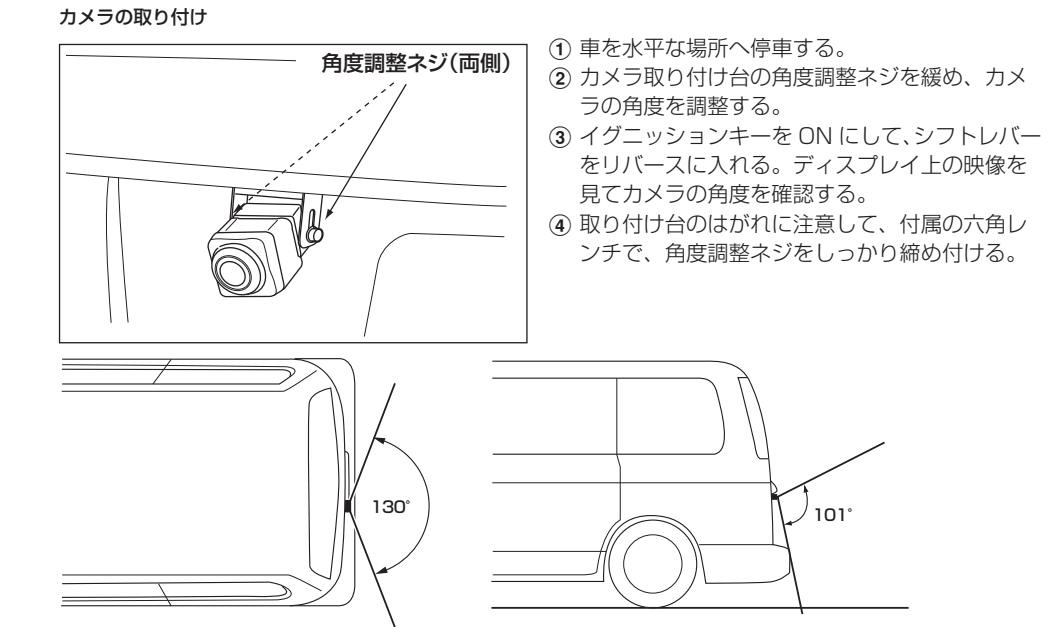
カメラケーブルの配線、固定
付属のバンドクランプでケーブルを止めながら配線を行なう。
カメラコードを車室内に引き込む際は
・トランク/バックドア、ヒンジ等に咬み込まないように引き回す。
・ピンジ・ケーブルカバーの外側を通す。
※配線終了後はトランク/バックドアの開閉を何度か行い、ケーブルの挟み込み、こすれ、つぶれがないことを確認する。

ビデオ接続コードの固定
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部にあたったりしてコードを傷めないように注意して配線し固定する。

2 モニターやナビゲーション等、カメラ取り付けのために外した製品を元に戻してから、バッテリーマイナス端子を接続する。

3 イグニッションキーを ON にして、取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

4 カメラの角度を調整する。



注意

●カメラの角度を調整するときは、必ずイグニッションキーを OFF にし、サイドブレーキを確実に引いて行ってください。車両が動くと事故の原因となります。

5 ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

その他

故障かな？と思ったら



カメラの映像が出ないなど正常に動作しなくなった場合は、操作にもついてもう一度操作しなおしてください。それでも正常に動作しないときは、下表を参照して処理を行ってください。

故障かな？（症状）	お答えします。（原因）
カメラの映像が出ない。（カメラ以外の映像は正常）	
イグニッションキーが ON 以外位置になっている。	⇒ イグニッションキーを ON の位置にしてください。
ヒューズが入っていないか断線している。	⇒ ヒューズを入れるか、原因を確かめてからヒューズを交換する。
正しく接続されていない。	⇒ 本取扱説明書を参照して正しく接続されているか確認する。
ディスプレイのリバース線が接続されていない。	⇒ ディスプレイの取扱説明書を参照してリバース線を接続してください。
ディスプレイのカメラ入力にビデオ接続コードが接続されていない。	⇒ ディスプレイの取扱説明書を参照してカメラ入力にビデオ接続コードを接続する。

カメラの映像が正常でない。（カメラ以外の映像は正常）

ディスプレイの画面がちらつく。	⇒ 蛍光灯などで照らされた場所を映したとき、ディスプレイの画面がちらつくことがあります故障ではありません。
次のようなとき画面が見えにくくなりますが、カメラの特性で故障ではありません。	⇒ 暗いところを映したとき 部分的に明るい光を映したとき カメラ本体付近の温度が高温のとき
画面が見えにくい。	⇒ 暗いところを映したとき、部分的に明るい光を映したとき、カメラ本体部分の温度が高温のとき、画面が見えにくくなりますがカメラの特性で故障ではありません。
カメラの映像がゆれる。	⇒ 取り付け台ががれていないか、角度調整ネジが緩んでいる。
カメラの映像が不鮮明。	⇒ カメラのレンズが汚れている場合は柔らかい布に水を含ませて軽くレンズを拭いてください。
画面に白線（光の縦線）が出る。	⇒ 太陽光を直接映したり、強い光（ボディからの反射やヘッドライト等）が入った場合、光源の上下に明るい縦線が現れることがあります（スミア現象）。→故障ではありません。

他	
ラジオにノイズが入る。	⇒ シフトレバーがリバース時にラジオにノイズが入るときは、カメラのケーブル、ビデオ接続コードを車両のワイヤーハーネス・ラジオのアンテナ・アンテナ線より離してください。

バックカメラパーフェクトフィットシリーズ

車種専用の取付キット（別売）を使用する事でバックカメラをスマートに取り付けできます。

取付キット	車 種*	年 式
KTX-C10G	ミニバン専用	
KTX-C11AL	アルファード	(H17/4～H20/5)
KTX-C12AV	アルファード / ヴェルファイア	(H20/5～現在)
KTX-C30PR	プリウス	(H21/5～現在)
KTX-C14IN	インサイト	(H21/2～現在)
KTX-C15G	ミニバン専用	
KTX-C16RP	ルークス バレット	(H21/12～現在) (H20/1～現在)
KTX-C17SG	リアナンパープレートサイド用	
KTX-C18MG	リアナンパープレートセンター用	
KTX-C19JU	ジューク	(H22/6～現在)
KTX-C20NV	ノア / ヴォクシー	(H19/6～現在)
KTX-C21ES	エスティマ（マイナーチェンジ後）	(H20/12～現在)
KTX-C23EL	エルグランド	(H22/8～現在)
KTX-C24CR	CR-Z	(H22/2～現在)
KTX-C26SE	セレナ	(H22/11～現在)
KTX-C40PRA	プリウスα	(H23/5～現在)
KTX-C34FR	フリード / フリードスパイク	(H20/5～現在)
KTX-C56ST	ステップワゴン / ステップワゴンスパダ	(H21/10～現在)
KTX-C10AQ	アクア	(H23/12～現在)
KTX-C12NB	N BOX / N BOX カスタム	(H23/12～現在)

※詳しい対応車種、取付条件については各モデルのパッケージにてご確認ください。

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL：0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。（一部回線ですつながりない場合があります。）
＜携帯電話、IP 電話、光電話等をご利用のお客様へ＞
TEL：048-662-6636
- 電話受付時間 月曜～金曜日 9：30～17：30 土曜日 9：30～12：00 / 13：00～17：00（土日、祝日、弊社休業日を除く）
- 電話は混雑が予想されます。FAX でのお問い合わせをおすすめします。
FAX：048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>
FAQ（よくあるご質問） <http://faq.alpine.co.jp>
アルパイン製品に関して、お客様からよくあるご質問と回答をご紹介します。

